

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		731-17-06	
事務事業名		公平委員会事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線4190	
担当部署名		公平委員会事務局		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	2	総務費
	施策	3	行財政運営		項	1	総務管理費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		目	8	公平委員会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市職員等					
	目的 (どうしたいか)	中立的かつ専門的な人事機関として、公正な任命権者の人事権の行使を保障し、職員の利益を保護する。					
	手段 (事業内容)	3名の委員で構成される公平委員会は、準司法的な機能を有する機関で次の業務を行う。○職員の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する措置の要求を審査・判定する。○職員に対する不利益な処分に係る審査請求について審査し、裁決・決定する。○職員からの苦情相談の受付、管理職員等の範囲を定める規則の制定、職員団体の登録等。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 委員長報酬:240千円 委員報酬:360千円 追録代:412千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	1,193	1,223	1,194	
決算額	事業費	1,161	1,102	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公平委員会の開催回数	単位	回	
指標の説明	公平委員会が開催された回数			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標(見込)	1	2	2	
実績	1	2	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	勤務条件措置要求・不利益処分審査請求等の件数(件)	単位	件	
指標の説明	公平委員会の重要な業務である、これら要求や請求に対応し、それらに対する判定や裁決等を行った件数			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標(見込)	0	0	0	
実績	0	0	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待通りの成果が上げられている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 地方公務員法において、委員会の設置及び審査等の実施が義務付けられていることから、現状維持としている。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 公正・中立な第三者機関として、職権の行使と機能の充実・強化を図っていき、また、現状の体制で最大限の効果が得られるよう、他の自治体の事例研究を行いながら効果的に遂行していく。